

2024年5月20日
第142号
(Web版第36号)

日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会
JAPANESE ASSOCIATION OF
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 大会実行委員長挨拶
- II 第51回(2024年度)大会 自由報告募集
- III 第51回(2024年度)大会について
- IV 第51回(2024年度)大会の託児サービスについて
- V 能登半島地震被災者の2024年度会費減免のお知らせ
- VI 各部・委員会報告

※第107号からニュースレターはWebのみで発行しております。
※会員動向につきましては、年間1回、会員のみに詳細版を郵送いたします。

I 大会実行委員長挨拶

岡邊健（京都大学）

このたび、日本犯罪社会学会第51回大会（2024年10月19日～20日）を京都大学吉田キャンパスにおいて開催させていただくことになりました。京都大学での開催は、2001年の第28回大会以来、23年ぶりということになります。

感染症のリスクはなくなったわけではありませんが、対面開催が危ぶまれる事態となる可能性はほぼないと思われまます。懇親会についても、キャンパス内の学生食堂で実施する方向で、鋭意準備中です。

京大吉田キャンパスは京都市の北東部に位置しています。「京都駅からはバスで30分」とウェブサイトでは案内しておりますが、観光シーズンは渋滞が激しくご不便をおかけすることになるかもしれません。キャンパス最寄駅の出町柳駅は京阪電車の終点ですが、新幹線でおいでの皆様におかれましては、京都駅からJR奈良線で1駅乗って東福寺駅にいただきますと、京阪電車に乗り換えられますので、こちらをお勧めいたします。

実行委員会は、近隣の大学に所属されている会員のご協力もいただき、相澤育郎、岡邊、齋藤堯仁、竹中祐二、竹松未結希（五十音順・敬称略）で構成しました。皆様にとって実り多い場となるよう準備を進めて参ります。ご参加を心よりお待ちしております。

なお、京都市内は慢性的にホテルの予約がとりづらい状況となっています。お早めに宿の確保をしていただきますよう、お願い申し上げます。

II 第51回（2024年度）大会 自由報告募集

研究委員会では、会員の皆さまの自由報告を募集します。

【申込方法】 Google フォームにて、以下の項目をお知らせください。

メールアドレス 申込者氏名（所属） 共同研究者氏名（所属） 上記それぞれについて当日報告をするか否か 報告タイトル プロジェクトの要否 大会プログラムに掲載する報告概要原稿（150字以上200字以内） （他学会等で類似の報告がなされている（予定も含む）場合）その詳細 ※大学に所属のある場合、教員等は「〇〇大学」、大学院生は「〇〇大学大学院」と記載してください。

● 申込先 URL : <https://forms.gle/uog3jbau8mxfRBGC8>



※研究委員会や学会事務局へのメールでのお申込みは、ご遠慮ください。

● 申込期限 : 2024年6月1日（土）必着

- 問い合わせ先：日本犯罪社会学会研究委員会第 51 回大会窓口（担当委員：大谷 彬矩）
メールアドレス：hansha2024kenkyu@gmail.com

【連絡事項】

- 現時点で大会はインパーソンでの開催を予定しています。
- 自由報告は 1 名でもグループでも申し込めます。
- 申込者と報告者は会員に限ります。共同研究者は非会員でも構いませんが、当日の登壇はできません。
- 1 件の申込みにつき 1 つの報告となります。
- 会員 1 名につき、申込み及び報告は 1 件までとなります。ただし、他の報告者の共同研究者となることは妨げません。
- 報告時間は質疑応答を含めて 1 件 30 分以内（このうち報告時間は 20 分～25 分）となります。共同研究者がいる場合でも、報告時間は変わりませんのでご注意ください。
- 申込みの時点で大会プログラムに掲載する報告概要の原稿（150 字以上 200 字以内）をご提出ください。原稿は、原則として修正できません。
- 大会プログラムに掲載された報告概要の著作権は、日本犯罪社会学会に帰属します。
- プロジェクタの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際にお知らせください。なお、大会当日に報告者ご自身でご持参いただく機材（PC、USB メモリ等）については、使用会場の設備が決定次第、研究委員会からご連絡します。
- 申込が受理されると自動的にフォームからの自動返信メールが届きます。自動返信メールが届かない場合は、申込者のメールアドレスが誤っている可能性がありますので、再度お申込みください。それでも届かない場合は、以下のメールでお問合せください。メールは第 51 回大会窓口[\[hansha2024kenkyu@gmail.com\]](mailto:hansha2024kenkyu@gmail.com)と学会事務局[\[hansha@daishodai.ac.jp\]](mailto:hansha@daishodai.ac.jp)の両方に送信してください。
- 自由報告実施の日時や会場の指定はできません。
- 報告タイトルや報告者（連名の場合の順番を含む）の変更は一切できません。
- 大会以前に、他学会等で類似の報告がなされている（予定も含む）場合には、詳細の申告をお願いします。
- 今大会では、レジュメ等の資料は原則として電子化を実施します。報告者はご自身の Google アカウントから、資料をアップロードしていただきます。詳細は後日、研究委員会より第 51 回大会窓口メールにてご案内しますので、必ずご確認をお願いします。

【自由報告でお守りいただきたいこと】

- 自由報告会場には、セッション開始の 20 分前までに必ずお入りいただき、司会者へお声かけください。やむをえず遅刻・欠席する場合は、必ず第 51 回大会窓口のメールアドレス宛にご連絡ください。
- 自由報告時にプロジェクタをご使用になられる場合、必ずセッション開始時刻前に、動作確認をお願いします。
- セッションの時間中に自由報告会場から離れることは、原則としてできません。無断で離れた場合には「報告が成立した」と認めない場合があります。
- 自由報告者の方には、大会前日までに、第 51 回大会窓口のメールアドレス宛に大会要旨集原稿をご提出いただきます。詳細は後日、研究委員会よりご案内しますので、第 51 回大会窓口からのメールを必ずご確認ください。

Ⅲ 第 51 回（2024 年度）大会について

- 日本犯罪社会学会第 51 回（2024 年度）大会は、2024 年 10 月 19 日（土）、20 日（日）に京都大学（京都府京都市左京区）で開催されます。インパーソンでの開催を予定しています。
- 会員・非会員ともに、事前参加申込必須です。

現在予定されている事項につきまして、以下の通りご報告します。

1. タイムテーブル

1 日目（10 月 19 日（土））

9:30	受付開始
10:00 - 12:00	自由報告
12:00 - 13:30	昼休み
13:30 - 16:30	テーマセッション
16:45 - 17:45	総会
18:00 - 19:30	懇親会

2 日目（10 月 20 日（日））

9:30	受付開始
10:00 - 13:00	テーマセッション
13:00 - 14:00	昼休み
14:00 - 17:30	シンポジウム
17:30 - 17:40	閉会式

2. 企画内容について

現在予定しているシンポジウム、テーマセッションのテーマ・申込者等は次の通りです。

(1) シンポジウム

- テ ー マ : 刑事司法における「対話」
コーディネーター: 森久智江（立命館大学）
パネリスト: 坂東希（大阪公立大学）
平畠隆充（富山刑務所）
風間勇助（奈良県立大学）
指定討論者: 大谷彬矩（信州大学）

(2) 公募企画テーマセッション

- ①テ ー マ : 批判的犯罪学の広がり——領域横断的な連帯の可能性を考える
コーディネーター: 吉間慎一郎（『更生支援における「協働モデル」の実現に向けた試論』著者）
- ②テ ー マ : 警察官による市民接触行動の規定要因とインパクトに関する縦断的研究：
第一波調査の分析
コーディネーター: 宮澤節生（神戸大学・龍谷大学）

- ③テーマ：性非行少年の立ち直りに向けて
コーディネーター：岡田行雄（熊本大学）
- ④テーマ：拘禁刑施行に向けて刑務所と刑務官に期待すること
コーディネーター：浜井浩一（龍谷大学）
- ⑤テーマ：日本犯罪社会学会のこれからの考える
コーディネーター：竹中祐二（摂南大学／研究委員会）

3. 電子化の推進について

- 印刷版のプログラムは発行しません。電子版のプログラムは、9月中旬ごろ、学会ウェブサイト
で公開する予定です。
- 第49回及び第50回大会での試行を踏まえ、本大会では、シンポジウムを含むすべての企画に
おいて、資料の電子化（オンラインでの共有）を実施します。参加者ご自身で、研究委員会の定
める Google Drive から資料をダウンロードしていただきます（ダウンロードする際、Google ア
カウントは不要です）。
- 資料のダウンロード可能期間は大会前1週間～大会終了後2週間を予定しています。
- 大会当日、Wi-Fi環境を用意する予定です。詳細は、ニューズレター次号及び学会ウェブサイト
でお知らせします。

IV 第51回（2024年度）大会の託児サービスについて

日本犯罪社会学会では、子育て世代の会員の皆様の研究活動のさらなる活性化をはかることを目
的として、託児サービスを試行的に導入しています。託児サービスの概要は下記の通りですが、詳
細は学会ウェブサイトをご覧ください。

- 委託業者：未定
- 派遣されるシッター：女性2名（予定）
- 会員の費用負担：なし（学会が全額負担）
- 提供時間：総会・懇親会を除く全日程（10月19日：9時30分～18時、10月20日：10時～17
時30分の予定）
- 場所：大会校内の託児に適した部屋（詳細は仮申込をされた方に別途お知らせします）
- 対象年齢：（大会開催日時点で）満1歳～小学校6年生まで（予定）
- その他：平熱より体温が高い場合、法定伝染病にかかっている場合、アナフィラキシーショック
を過去に発症したことがある場合には、委託業者との契約上、託児サービスの提供ができかねま
す。
あらかじめご了承ください。

第51回大会において託児サービスを利用する意向がある会員（大会における報告の有無は問い
ません）におかれましては、後日学会ウェブサイトにてお知らせいたします申し込みフォームによ
り「仮申込」をお願いします。託児サービスを利用する可能性が少しでもある場合には「仮申込」
をお願いします。

V 能登半島地震被災者の2024年度会費減免のお知らせ

日本犯罪社会学会第18期理事会は、2024年1月1日に発生した能登半島地震（令和6年能登半島地震）において被災された会員の2024年度会費を減免することを決定いたしました。具体的な対応は以下の通りとなります。

- ・主に北陸地方に在住する会員について2024年度会費支払いを2025年3月まで猶予いたします。
- ・生活に何らかの影響を受けた場合は、本人の自己申告により2024年度会費の支払いを免除いたします。

該当する会員で、減免の適用を申請される方は、以下のURLにアクセスし、フォームからご連絡をくださるようお願いいたします。



連絡先 URL：<https://forms.gle/YsxnwKVMVWByS2y18>

会費減免申請期限：2024年9月20日（金）

当該年度学会費未納の方には機関誌の発送をいたしません。今秋の機関誌発送業務のために、免除であるのか未納であるのかを判別する必要があります。この点に鑑みまして、免除を希望される会員は期日までに申請してください。

VI 各部・委員会報告

1 編集委員会

現在、『犯罪社会学研究』49号発行に向けた準備を進めております。

また、『犯罪社会学研究』50号の自由論文・研究ノートの特稿締切は、2025年3月31日消印有効です。学会ホームページおよび『犯罪社会学研究』に記載されている特稿規程に従って、下記住所及びメールアドレス宛にご送付ください。なお、特稿締切に関して、特別な事情のある方は、必ず事前に編集委員会までご相談下さい。

また、特稿は常時受け付けております。会員の皆様のご特稿をお待ちしております。本誌が犯罪社会学の自由な学術フォーラムとなることを期待しています。

<自由論文・研究ノートの送付方法と送付先>

自由論文・研究ノートの特稿に際しては、次の郵便、宅配便貨物または信書便等（以下「郵便等」）による送付とメールによる送信の両方を必ず行ってください

【郵便等による送付】

以下の住所宛に特稿原稿1部を郵便等で送付してください。締切は、郵便等での送付につき2025年3月31日消印有効といたします。なお、郵便等での送付は、必ず追跡できる方法によってください。

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10 八ッ橋ビル 7階 現代人文社気付
日本犯罪社会学会編集委員会

【メールによる送付】

メールでの送信は、以下の要領で、PDF ファイルを電子メールに添付し、2025年3月31日23時59分までに、送信先のアドレスに送付してください。

メールの件名：犯罪社会学研究 50号投稿_（半角アンダーバー）投稿者氏名

例：犯罪社会学研究 50号投稿_犯社太郎

ファイル名：犯罪社会学研究投稿_（半角アンダーバー）日付

例：犯罪社会学研究投稿_20250331.pdf

送信先：hansha@genjin.jp

- * 投稿にあたっては、投稿時に日本犯罪社会学会の会員である必要があります。投稿者は（共著論文の場合は全員について）、遅くとも投稿締切日までに学会事務局に入会申込書を送達していなければなりません（同日必着）。この要件を満たさない場合は、論文を受理いたしません。現在非会員で、今後投稿を予定されている方はご注意ください。
- * 編集委員会では、自由投稿論文の英文校閲を行っておりません。そのため、自由投稿論文の英文要旨については、投稿時点で筆者の責任においてしかるべき方法で英文校閲をおこなっていることを投稿の要件といたします。なお、査読過程で英文要旨の修正を求めることがありますので、あらかじめご了承ください。
- * 海外から投稿する場合は、必ず事前に編集委員会までご相談下さい。
- * 研究ノートでの審査をご希望の場合は、論文の表紙か別紙に明記していただくか、編集委員会に事前にご連絡ください。

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問につきましては、下記までお寄せください。

<編集委員会事務局> hanshaedit18@gmail.com

2 渉外広報委員会

研究会助成について 渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。年度ごとに2件、1件あたりの助成金は40,000円です。詳しくは学会ホームページをご参照の上、奮ってご応募ください。

3 企画調整委員会

【募集】機関誌第49号への広告の掲載について

当学会機関誌『犯罪社会学研究』第49号への掲載広告を募集いたします。広告の掲載を希望される出版社さま、団体さまは、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、新規にお問い合わせをいただいた場合には、掲載の可否について審査をさせていただく場合がございますことをご了承ください。

記

- | | | |
|-----------|---------------------|-----------------------|
| (1) 掲載雑誌 | 「犯罪社会学研究」 | ISSN 0386-460X |
| | 第49号 (2024年10月刊行予定) | |
| (2) 広告掲載料 | B5版 半頁分 | 【天地 105mm × 左右 140mm】 |
| | | (モノクロ印刷) 15,000円 |
| | 同 一頁分 | 【天地 215mm × 左右 140mm】 |
| | | (モノクロ印刷) 20,000円 |

(3) お問い合わせ・原稿送付先
山梨 光貴 (企画調整委員) d8y.tube.drea3@gmail.com

4 本部事務局会計部
会費納入のお願い

2024年度の会費納入のお願いを発送いたしました。郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。過年度未納分のある方は、古い年度分から充当させていただきます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 8,000 円
院生会員 6,000 円 (大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員)
国外会員 7,000 円 (国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員)

郵便振替口座 00950-2-148284
加入者名 日本犯罪社会学会

会費を3年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なされたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意ください。

5 本部事務局庶務部

(1) 献本 (2024年1月6日～2024年4月19日)

- ・法務総合研究所『令和5年版犯罪白書—非行少年と生育—』
- ・龍谷大学矯正・保護総合センター編『龍谷大学矯正・保護総合センター研究年報』2023第13号
- ・龍谷大学矯正・保護課程委員会編『矯正講座』第43号 (2023年)
- ・高橋靖幸『児童虐待の歴史社会学』勁草書房 (2024年)

(2) 会員数(2024年1月20日現在)

一般会員 410名、海外会員 2名、名誉会員 12名、終身会員 4名、特別会員 2団体、合計 430名
※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間1回、会員動向の詳細版を郵送いたします。

お願い

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

日本犯罪社会学会 事務局
〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F
TEL : 06-6618-4324 (月～金 10:00 - 6:00)
E-mail : hansha@daishodai.ac.jp

*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。
